



亀っ子だより

第19号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2020年2月27日

2年生が赤ちゃん体験をしていました

少し前ですが、2月3日・4日、2年生が赤ちゃん体験をしていました。廊下では、生活支援員さんに付き添われて、おもりのついた前掛けを着て、階段を上ったり落ちているものを拾ったりして妊婦さんの大変さを体験していました。家庭科室では担任の先生はもちろん家田先生や生活支援員さんと赤ちゃんをお風呂に入れたり、おむつを替えたりしていました（もちろん赤ちゃんの人形で）。

2年生という年代でこのような体験をすることに、私はとても意義を感じました。自分が生まれるまでのお母さんの大変さ、生まれてくる時の苦しさ、生まれた後に大切にされてきたことを子どもたちが感じることで、自分は大切な存在なんだ、自分の命はかけがえのないものなんだと実感できるのではないかと思ったからです。学校公開日で、この日に感じたことを発表していたと聞いています。我が子が生まれてきた時の感激やその時の気持ちを思い出すことで、きっと親子関係が今まで以上に深まったのではないかと考えています。

学校公開日での学校保健委員会で感じたこと

学校公開日の5時間目、学校保健委員会でスマホやネットの依存に関する講演を藤田医科大学客員教授の磯村毅先生にいただきました。講演の中で一番強烈だったのは、「依存症は治らない」という言葉でした。正確に言うと磯村先生は「依存症は回復はするけど、完治はしない」とおっしゃっていました。磯村先生は自らの体験を校長室で次のように語ってくれました。「私は、若いころ mixi という SNS にはまっていた。mixi で一晩中、会話をしていたり、かかってくることを待っていたりしていました。自分の生活がどんどん mixi に支配されてくことが自覚できたので、mixi のアプリを消去しました。でも、今でも自分の近くに mixi があれば元の生活に戻ってしまうことが分かっているので、自分を守るために関わらないようにしています。依存症は治らないのです」と。私が「依存かどうかの境目はどこなのですか」と質問すると、「昼夜逆転している状況はとても危険です」とおっしゃっていました。恐ろしい話ですが、現実を受け入れなければならないと感じました。

学校公開日で響いた子どもたちの歌声

学校保健委員会後、3年生から6年生までの児童による音楽集会在開催され、子どもたちが音楽の授業で培ったリコーダーの技術と歌声のすばらしさを披露してくれました。どの学年も素晴らしいと思いましたが、学年が上がるにしたがって磨きがかかってくると感じました。その中でも、6年生はずば抜けていました。半田市小学校音楽祭の時より、さらに磨きがかかったと思いました。私は、3年生から6年生までが一堂に会して行われていることに意義を感じました。「憧れは、人を強くする」と考えているからです。高学年の歌声を聞いて「あんなふうに歌いたい」「あのような一体感を味わいたい」と思ったことでしょう。その思いが亀崎小学校の伝統となり、受けつがれていくのだと思いました。素晴らしい集会でした。

表彰の記録

- 第31回読書感想画愛知県コンクール知多地区 優良賞 原 菜月（5年）
- 第22回村井杯 女子の部 第2位 アルカダシ

- 河合 里奈 (6年) 牧 風香 (6年) 水谷 楓 (6年) 青木 和奏 (6年)
 伊藤 楓果 (6年) 岩崎 華帆 (6年) 竹内 凜 (6年) 西岡 萩菜 (6年)
 山口 桃華 (6年) 足立 瑚々 (5年) 竹内 叶望 (4年)
- 棚尾大浜杯 U11 優勝
 中村 日音 (5年) 高松 直矢 (5年) 深見 悠貴 (5年) 宇佐 亮哉 (5年)
 近藤 惇樹 (5年) 竹本 健登 (5年)
- 半田市スポーツ協会 スポーツ賞 長嶋 心咲 (6年)
- 第35回愛知県小学生団体卓球選手権大会 女子の部 第3位 吉田 七葉 (5年)
- 第24回半田ファミリー駅伝大会 小学生女子の部 第4位
 石川陽南子 (5年) 間瀬 珠理 (5年) 岩本 真季 (5年) 稲生さやか (5年)
 松井 初夏 (5年)
- 第47回人権を理解する作品コンクール奨励賞
 新美 紀陽 (2年) 小路口佳登 (3年) 湧川 優海 (3年) 名生 璃杏 (3年)
 服部 寛子 (3年) 伊藤 英奈 (3年) 高須 世羅 (3年) 渡辺 丞 (3年)
 岩本 啓志 (3年) 久野真友香 (3年) 川村 さくら (3年) 坂東りさ子 (4年)
 樋口 望愛 (5年) 鈴木 暁七 (5年) 大西 匠 (5年) 吉原 有純 (6年)
 間瀬 洸琳 (6年) 村上 永和 (6年) 久納 壯優 (6年) 倉家明日香 (6年)
- 杉本美術館 絵画作品コンテスト「令和元年のわたし」
 入賞 間瀬 友悟 (1年) 梶川 蒼太 (3年) 岩田 寛大 (6年)
 入選 稲生 耀 (1年) 佐藤 蘭 (2年) 山川 駿太 (2年) 岩本 姫衣 (2年)
 谷口 さくら (2年) 長嶋 優和 (3年) 山田 秀 (3年) 森下 眺希 (5年)
 生田 真二郎 (5年) 長嶋 心咲 (6年) 酒井 倅 (6年) 加藤 自由 (5年)

♣ 子育てアラカルト ♣

[子育ての3つの「あい」 その1]

「あるがままを いつくしむ」
 条件をつけないで、そのまま、丸ごと、子どもを愛する。

【いい子といけない子】

宿題をちゃんとやればいい子
 100点を取ればいい子
 嫌いなものを食べればいい子
 朝早く起きればいい子
 お行儀がよければいい子
 お使いに行けばいい子
 文句を言わなければいい子
 お母さんの言うとおりにしてあげればいい子
 いつも条件付きでいい子
 ぼくが ぼくのまんまでは いい子ではないんだな



ウソをついてはいけません
 約束を破ってはいけません
 けんかをしてはいけません
 ものを壊してはいけません
 服をよごしてはいけません
 人をいじめてはいけません
 感情的になってはいけません
 わがままを言ってはいけません
 人のものを盗ってはいけません
 人に迷惑をかけてはいけません
 自己中心的になってはいけません
 親や先生に口ごたえをしてはいけません
 ぼく 生きていたら いけないんだなあ



六浦 基 著 「カウンセリング詩」

(ある教育者のひとり言 より)